

平成24年2月期 第2四半期決算参考資料

米久株式会社
(東証一部：2290)

1. 当第2四半期の業績に影響を与えた主な項目

- 1) 東日本大震災が発生、わが社への影響として、88百万円の特別損失を計上
- 2) 7月に牛肉から放射性セシウムが検出され、相場が急落、震災以降の消費減退もあり売上に大きく影響
- 3) 豚肉・鶏肉は国内相場が回復、豚肉が8%、鶏肉が10%それぞれ上昇
- 4) 鶏肉は、米久おいしい鶏(株)が静岡事業所において処理羽数を18万羽増加、輸入品もブラジル産が26%伸長
- 5) 消費低迷・デフレ継続及び市場競争激化により加工品の販売単価が1.5%下落
- 6) 加工品原料価格はハムが低下継続も、ソーセージは上昇基調
- 7) 加工品ではソーセージのコンシューマ商品が14%、デリカ商品が19%それぞれ売上高を増加
- 8) 為替(対USDドル)は平均9円の円高で推移、輸入調達コストが低下
- 9) 保有有価証券を売却し、445百万円の特別利益を計上
- 10) 資産除去債務に関する会計基準の適用を受け、144百万円の特別損失を計上
- 11) 当第2四半期末の連結子会社数は前年同期比2社減少(統合等により4社減少、2社増加)の合計11社

2. 当第2四半期(平成23年3月1日～平成23年8月31日)の連結業績

金額単位 百万円

	当期実績	前期実績	伸び率(%)	年初公表予想	H23/2月期通期
売上高	68,103	65,653	3.7	72,500	136,049
営業利益	953	807	18.0	830	1,917
経常利益	1,072	826	29.8	880	1,999
四半期純利益	739	505	46.3	250	1,220
E P S (円)	26.69	18.24	-	-	44.04
R O E (%)	2.0	1.4	-	-	3.3
R O A (%)	1.8	1.5	-	-	3.6

注) ROAは事業利益(営業利益+営業外収益)にて算出してあります。

3. 第2四半期(3月1日～8月31日)連結業績の推移

金額単位 百万円

	H20/2期 第2Q	H21/2期 第2Q	H22/2期 第2Q	H23/2期 第2Q	H24/2期 第2Q
売上高	79,173	84,831	82,234	65,653	68,103
営業利益	1,669	2,641	1,689	807	953
経常利益	1,662	2,713	1,691	826	1,072
四半期純利益	907	550	467	505	739
純資産	38,663	39,871	40,956	37,001	37,502
総資産	78,488	80,914	80,541	62,685	63,646
一株当たり純資産:円	1,195.86	1,219.88	1,227.75	1,332.23	1,351.51
一株当たり四半期純利益:円	31.58	19.14	16.28	18.24	26.69

4. セグメント別業績の推移

金額単位 百万円

		H23/2期 第2Q	H24/2期 第2Q
売上高	加工品事業	/	26,948
	食肉事業		39,678
	その他事業		1,475
	連結合計		-
営業利益又は損失	加工品事業	/	1,843
	食肉事業		215
	その他事業		66
	全社費用他		1,039
	連結合計		-

注) H23/2期はセグメント業績を開示していません。

5. 連結子会社一覧

金額単位 百万円

会社名	持分割合 (%)	売上高	総資産	事業内容
米久かがやき(株)	100.0	11,784	6,160	ハム・ソーセージ・デリカ製品の製造
(株)日宏食品	100.0	879	335	ソーセージの製造
米久デリカフーズ(株)	100.0	3,274	3,918	冷凍デリカ製品の製造・販売
国内加工品生産会社計		15,938	10,414	
YONEKYU U.S.A.,Inc.	100.0	1,022	916	ソーセージの製造
海外加工品生産会社計		1,022	916	
米久おいしい鶏(株)	100.0	5,219	3,774	鶏肉の生産・加工・販売
(株)マルフジ	100.0	873	369	食肉の卸売業
アイ・ポーク(株)	100.0	1,708	588	豚肉の加工・販売
大洋ポーク(株)	100.0	1,192	628	豚肉の生産・加工・販売
(農)広島県東部養豚組合	-	534	779	養豚
食肉供給会社計		9,528	6,139	
御殿場高原 ビール(株)	83.1	694	723	地ビールレストランの経営
外食・レストラン経営会社計		694	723	
(株)平田屋	100.0	624	675	菓子の製造・販売
その他の会社計		624	675	
< 連結子会社合計 >		27,808	18,869	

その他、持分法適用会社2社

・食肉事業
・加工品事業

ときめきファーム(株)
MIY(株)

6. 当第2四半期の業績

(1) 売上高

加工品事業では、ハム等において主力製品が引き続き好調を維持し、ソーセージはコンシューマ製品が大幅に増加しました。また、デリカテッセンも主力品が総じて好調に推移し、全てのカテゴリーにおいて売上高・数量が増加しました。これらにより、加工品事業全体では、売上高・数量ともに大幅に増加しました。

食肉事業では、まず豚肉は、大洋ポーク(株)の設立とアイポーク(株)の事業拡大により国産が増加するとともに、北米産冷蔵豚肉も好調に推移し、売上高・数量は増加しました。また鶏肉も、国産・輸入品ともに売上高・数量が増加しました。一方、牛肉は、放射性セシウム問題、震災以降の消費減退の影響などを受け、売上高・数量もに減少しました。豚肉・鶏肉の増加により、食肉事業全体では売上高・数量が増加しました。

なお、加工品事業セグメントの売上高は269億48百万円、食肉事業セグメントの売上高は396億78百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は前年同期に比べ24億49百万円増加し681億3百万円(3.7%増)となりました。

(2) 売上総利益

消費低迷による低価格志向や市場競争激化による加工品の利益率の低下、また牛肉の販売不振が続きました。一方、加工品生産子会社の米久かがやき(株)と米久デリカ(株)を統合し、アイテムを集約した結果、生産効率が向上しました。加えて、主・副原料価格の低下や、国産鶏肉相場の回復がプロイラー生産事業への追い風となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上総利益は前年同期に比べ2億91百万円増加し96億75百万円(3.1%増)、売上総利益率は0.1ポイント下落し14.2%となりました。

(3) 販管費、営業利益

人件費・保管料が減少したものの、販売数量拡大による運賃の増加などにより販管費全体は前年同期に比べ0.5%増加しました。売上高に対する販管費率は売上高の増加により0.4ポイント下落し9.8%となりました。また、新たな連結子会社2社(大洋ポーク(株)・(農)広島県東部養豚組合)による増加も影響しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の販管費は前年同期に比べ1億45百万円増加し87億22百万円(1.7%増)となり、売上高販管費率は0.3ポイント下落の12.8%となりました。また、営業利益は1億46百万円増加の9億53百万円(18.0%増)となりました。

(4) 営業外収支、経常利益

営業外損益において、営業外収益が前年同期に比べ51百万円増加、営業外費用は48百万円の減少となりました。なお、持分法による投資利益は43百万円の減少となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の経常利益は前年同期に比べ2億45百万円増加の10億72百万円(29.8%増)となりました。

(5) 特別損益、税金等調整前四半期純利益、四半期純利益

特別損益において、特別利益は保有する有価証券の売却などにより前年同期に比べ4億98百万円増加、特別損失は資産除去債務会計基準の適用や東日本大震災の影響などにより1億96百万円の増加となりました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は前年同期に比べ5億48百万円増加の13億7百万円(72.3%増)となりました。また、法人税等は3億18百万円増加となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の四半期純利益は前年同期に比べ2億34百万円増加の7億39百万円(46.3%増)となりました。

7. 下半期の業績に影響を与える主な項目

- 1) 今秋よりテレビCMの放映エリアを拡大し、コンシューマ商品の全国展開とともに、当社ブランドの浸透を図る
- 2) 10月に業界として初めてネット通販事業に本格参入
- 3) 9月に当社として初めて四国エリアに営業所を開設、今後も営業拠点を拡充、販売エリアを拡大
- 4) 食肉の国内相場は、前年同期に比べ豚は僅かに下回り、鶏は同水準と見込むが、牛肉は大幅に下落と予想
- 5) 加工品の主原料価格は前年並みと見込むが、副原料価格は羊腸等の上昇を予想
- 6) 加工品生産会社は増産と採算性見直しによる原価率低減を推進
- 7) 米久おいしい鶏(株)は処理羽数が年間60万羽増加し、増益を見込む
- 8) 牛肉セシウム問題の長期化、冬場の電力供給不足による節電対応など、経営環境は不透明な状態が続くと予想

8. 通期業績予想

金額単位 百万円

	今回予想	前期実績	伸び率(%)
	金額	金額	
売上高	145,600	136,049	7.0
営業利益	2,400	1,917	25.2
経常利益	2,500	1,999	25.1
当期純利益	1,280	1,220	4.9
E P S (円)	46.19	44.04	-

9. 設備投資及び減価償却費

(1)設備投資額 金額単位 百万円

		金額	主な内容(通期予想では下半期における内容を記載)
連結	上半期実績	728	米久おいしい鶏 レンダリング設備他 288百万円 米久かがやき 加工品生産機械他 78百万円 米久デリカフーズ デリカテッセン生産機械他 58百万円
	通期予想	2,100	米久 肉だんご製造ライン等加工品製造設備 498百万円 米久かがやき ソーセージ充填機等加工品製造設備 167百万円

(2)減価償却費 金額単位 百万円

		金額
連結	上半期実績	1,099
	通期予想	2,200